

令和 2年 9月 4日
(独) 家畜改良センター奥羽牧場

スマート農業技術現地研修会 「ロボットトラクタと連携した牧草収穫」開催

独立行政法人家畜改良センター奥羽牧場では、肉用牛の効率的な改良増殖、畜産新技術の開発・実用化等の業務に取り組んでおり、粗飼料は自場生産により自給しています。

近年、農業分野においては、担い手の減少・高齢化の進行等により労働力不足が深刻な問題となり、平均耕地面積の拡大により、1人当たり作業面積の限界を打破する技術革新が必要となっています。これに応じて、ロボットトラクタなどの先端技術による作業の自動化システムが開発され、水田・畑作に導入され始めています。草地においては、作業機材の一部を無人化することで、限られた作期の中での1人当たり作業可能面積の拡大が期待されています。

このため、奥羽牧場では、地域の粗飼料の安定生産および経営改善に貢献するため、ロボットトラクタと連携した牧草収穫作業を実演し、スマート農業を学ぶ現地研修会を開催することとしました。

記

1. 開催日時：令和2年9月29日（火） 13:00～16:00
※ 雨天の場合、9月30日に順延します。
2. 開催場所：家畜改良センター奥羽牧場飼料生産ほ場
3. 内容
 - (1) 「奥羽牧場における粗飼料生産の概要について（奥羽牧場）」
 - (2) 「ロボットトラクタと連携した牧草収穫について」
(ヤンマーアグリジャパン株式会社東北支社)
 - (3) ロボットトラクタと連携した牧草収穫実演及び意見交換
4. 参集範囲
生産者、試験研究機関、関係団体、飼料生産受託組織 等

【問合せ先】

〒039-2567 青森県上北郡七戸町鶴児平 1

独立行政法人家畜改良センター奥羽牧場 担当者：業務課 藤澤、成田

TEL：0176-62-3281 FAX：0176-62-3283 URL：<http://www.nlbc.go.jp/ouu/>

「日本の食卓 改良と技術で守ります」～小さなタネから大きなウシまで～

※ 取材をご希望される方は、事前にご連絡下さい。

※ 新型コロナウイルス感染防止のため、体調不良の方の来場はご遠慮願います。また、マスクの着用と手指消毒にご協力下さい。